

てまえみそ
手前味噌重要度 ☆☆☆
実用性 ☆☆☆
格調 ☆☆☆お聞き苦しい
でしょうが：

「手前」は、自分自身を指す、へりくだった言い方。「手前味噌」とは、「手前味噌を上げる」を省略した表現で、自分で作った味噌を、よくできていると自慢する、という意味。転じて、自分に関することを自分でほめることのことたえとして用いられる。

謙遜の意味合いを含むところから、あえて自慢しようとするときや、思わず自慢してしまったときの言い訳として使われることが多い。「手前味噌にはなりません、うちの工場の技術者たちは、とても優秀です」「自分の本の自慢話をしとしまい、これはとんだ手前味噌になりました」などが、その例。もともと、「あいつの手前味噌を聞かされるのは、もううんざりだのように、その本人を批判する場合に使っても、問題はない。意味が似た四字熟語には、「自画自

賛」(p204)がある。しいていえば、「自

画自賛」はその本人を批判したり皮肉つたりするニュアンスが強く、「手前味噌」は謙遜する場合によく使われる。とはいえ、意味の上でほとんど違いはない。ただ、「手前」という訓読みの熟語を含み、「味噌」という生活用品に由来するだけに、「手前味噌」の方がはるかに庶民的。その分、四字熟語らしい格調に欠ける点は否めない。

てれんてくだ
手練手管重要度 ☆☆☆
実用性 ☆☆☆
格調 ☆☆☆気配りの一種
かも？

「手練」も「手管」も、他人を操る方法を指すことば。「手練手管」は、その二つを重ねて、強調した表現。他人を思い通りに操る方法をいう。

江戸時代に、遊女が客をうまく操る方法を指してよく使われたことば。そのため、現在でも、男女関係を意識した文脈で使われることが多い。たとえば、「彼女は、気になる相手がいると、

手練手管を使って、向こうからデートに誘わせる」といった具合。ほかの文脈でも、「彼は店長の手練手管に乗せられて、引越しの手伝いをする約束をさせられた」「こんなふうには生徒たちの気持ちとうまく盛り上げていくのは、さすがにベテラン教師の手練手管だ」などと、広く用いることができる。

相手の気持ちをよくうまく操りながら、何かをやりたいとか、やらざるを得ない、という気持ちにまで相手を持って行くのが、「手練手管」の特徴。似たようなことを表す四字熟語でも、「権謀術数」(p161)は、相手の気持ちなど関係なく、だまして自分の利益を得ようとする、という違いがある。

てんいむほう
天衣無縫重要度 ☆☆☆
実用性 ☆☆☆
格調 ☆☆☆何か考えている
はずなのに…

昔、あるところに、美しい天女と親しくなった男がいた。あるとき、彼は、彼女の衣が「縫うところ無し」なのに気づ

く。それを指摘すると、天女は、「天衣」は針や糸で作るものではないのです、と答えたという。

「天衣無縫」とは、一〇世紀の初めに中国で書かれた『靈怪録』という書物に出てくる、以上の話から生まれたことば。「天衣」を芸術作品にたとえて、非常にすばらしい出来なのに、技巧のあとが見えないことを指して使われる。たとえば、「あのピアノリストが弾くモーツァルトのソナタには、天衣無縫の趣がある」といった具合である。

転じて、現在では、人の言動が、非常に自然で、わざとらしさが無い場合に使われることが多い。たとえば、「うちの社長は気さくな人で、飲み会になると、社員たちに天衣無縫にお酒を勧めて回る」が、その例となる。

ここから、特に悪いことをしているのに、悪意をまったく感じさせない場合に使われることもある。例としては、「彼女はトランプでよくするをするが、その天衣無縫ぶりに、みんなは怒る気にもなれない」などが挙げられる。

似た意味を表す四字熟語としては、「天真爛漫」(p.352)がある。「天真爛漫」は子どものように、何も考えていないというイメージ。それに対して、「天衣無縫」は、本当はいろいろと考えているのかもしれないが、それをまったく気づかせないという意味合いで使うと、効果的である。

天涯孤独

たとえどこまで探しに行っても…

「涯」は、陸地の果てを表す漢字。「天涯」とは、世界の果てのこと。「天涯孤独」で、世界の果てのような遠いところで、頼るべき人がだれもないという意味を表す。

「留学先のヨーロッパで、彼は天涯孤独を感じた」が、その例。中国では、二三世紀ごろから、「天涯」でのさみしさをうたった漢詩が数多く作られており、中には「孤」や「独」という漢字が使われたものもある。「天涯孤独」は、そ

れを踏まえて、日本人が独自に生み出した四字熟語かと思われる。

現在では、転じて、世界の果てまで探しても、どこにも身寄りがないという意味で使われることが多い。「二人っ子だった彼女は、事故で両親をなくして天涯孤独の身となった」のように、「天涯孤独の身」の形で用いるのが、一つのパターン。そのほか、「天涯孤独の気楽さから、彼は他人の相談にすぐ乗ってやる」「叔父が亡くなった今では、私はまったくの天涯孤独だ」などとも使われる。

意味が似た四字熟語に、「鰥寡孤独」(p.99)がある。「天涯孤独」は主に個人を指して使われるのに対して、「鰥寡孤独」は身寄りのない人々をいうところが異なる。

天下一品

重要性 ☆☆☆
実用性 ☆☆☆
格調 ☆☆☆

細かい技術が冴えわたる!

「天下」は、空の下というところから、世

分類索引

- この索引は、本書に収録した 1106 の四字熟語を、約 200 のキーワードによって探せるようにしたものです。
- 使いたい場面・文脈にもっとも近いイメージを持つキーワードを、最初に掲げた「キーワード一覧」から探してください。
- キーワードは 12 のジャンルに分かれています。たとえば、だれかの人柄を表現したい場合には「性格・能力・容姿」のジャンルから、暮らしぶりを表現したい場合には「生活・人生」のジャンルから、ほめたりけなしたりしたい場合は「ものごとの評価」のジャンルから、キーワードを探してみてください。
- あなたが表現したいことに合う四字熟語は、意外なキーワードのところに隠れていることもあります。なかなかしっくりこない場合には、違うジャンルのキーワードも眺めてみてください。

キーワード一覧

数字は、この索引のページ数です。

性格・能力・容姿

誠実な・信頼できる … 4	怒る・恨む … 7
不誠実な・信頼できない … 4	悲しい … 7
寛大な・思いやりがある … 4	苦しい … 7
自信がある・自慢げな … 4	不安な・怖い … 7
自分勝手な … 4	悩む・迷う … 7
無遠慮な … 4	慌てる … 7
知識や知恵がある … 4	悔しい … 7
知識や知恵がない … 4	恥ずかしい・屈辱的な … 7
才能がある … 5	待ち遠しい … 7
才能を生かす … 5	やけになる … 7
才能が生かせない … 5	もどかしい … 7
才能を隠す … 5	なつかしい … 7
経験が豊富な … 5	さまざまな感情 … 8
意志が強い … 5	気持ちを集中する … 8
意志が弱い … 5	何も考えない … 8
決断力がある … 5	気を引き締める … 8
創造力がある … 5	気合いが入った … 8
能力がない … 5	落ち着いている … 8
魅力がある … 5	感動する・感慨深い … 8
人当たりがいい … 6	判断力を失う … 8
欲が深い … 6	退屈な … 8
欲がない … 6	
気高い … 6	
無邪気な … 6	
器量が大きい … 6	
冷酷な … 6	
運動能力がある … 6	
容姿 … 6	
肉体 … 6	
さまざまな人々 … 6	

感情・心理状態

喜ぶ・楽しい … 7	行動・態度
------------	-------

行動力がある … 8
行動力がない … 8
努力する … 8
苦勞する … 9
耐え忍ぶ・あきらめない … 9
挑戦する・勝負する … 9
自由な・自立した … 9
不自由な … 9
力強い … 9
勢いがいい … 10
勢いがいい … 10
活動的な … 10

思い通りにできる … 10
思い通りにならない … 10
悪事を行う … 10
だます・ずるい … 10
正しい・正す … 10
じっくり考える … 11
予測する・用心する … 11
融通が利かない … 11
機転を利かせる … 11
すばやい … 11
願う・求める … 11
つかまえる・手に入れる … 11
表情・動作 … 11

生活・人生

健康 … 11
病気と死 … 11
食事 … 11
飲酒 … 12
睡眠 … 12
育児・教育 … 12
日常生活 … 12
幸運な・幸福な … 12
不幸な・不運な … 12
チャンス … 12
ピンチ … 12
ピンチを脱する … 12
幸福と不幸 … 12
運命の移り変わり … 13
報いを受ける … 13
豊かな・ぜいたくな … 13
質素な・貧しい … 13
忙しい・休みがない … 13
のんびりした … 13
俗世間を離れた … 13
にぎやかな … 13
建物と街 … 13
観光 … 13
人生一般 … 13

人間関係

家族・親族	14
夫婦・結婚	13
友人・仲間	14
恋愛	14
絆や縁	14
心が通じ合う	14
出会う	14
孤独な・さみしい	14
別れる・見送る	14
競い合う	14
協力する	15
元気づける・応援する	15
敬意を払う・感謝する	15
謝る・へりくだる	15
戒める・叱る	15
公平な・中立の	15
不公平な	15

政治・社会・組織

政策・策略	15
リーダーシップ	15
組織の運営	15
社会や組織に尽くす	15
社会や組織を乱す	16
平和な	16
理想郷	16
世間の風潮	15
身分や地位	16
知らせる・知れ渡る	16
評判や体面	16
規則や規準	16
社会一般	16

学問・芸術・ことば

読書・勉強	16
議論	16
意見	17
うわさ	17

わずかなことば	17
ことば数が多い	17
ことばと行動	17
文字・文字を書く	17
意味を理解する	17
声・声を出す	17
芸術・詩文	17

宗教・神秘

神や仏	17
宗教の教え	17
修行・僧	17
化けもの	18
悟りの境地	18

自然

景色	18
風と雲	18
水辺	18
山岳	18
天体	18
植物	18
十二支の動物	18
その他の動物	19
天候	19
自然のままの	19
自然界の摂理	19

時間・場所

時間	19
いつでも・いつまでも	19
長い間続く	19
何度も	20
どこでも・あちこちで	20
距離が近い	20

ものごとの評価

最高の・ただ一つの	20
完全な	20
一度だけの・初めての	20

役に立つ・価値が高い	20
役に立たない・価値がない	20
ふだんの・ありふれた	20
わかりやすい	20
わかりにくい	20
合理的な・筋が通った	21
不合理な・間違った	21
奇妙な・ありえない	21
根拠がない	21
大げさな	21
ちょうどいい	21
どっちつかずの	21
プラスとマイナス	21

ものごとの状態

けがれがない	21
華やかな	21
広い	22
多い・長い・重々しい	22
少ない・短い・軽々しい	22
激しい	22
危険な	22
変化しない	22
変化する	22
一つになる・同じである	22
異なる・一致しない	22
堅固な・確実な	22
崩れる・なくなる	22
はかない	23
入り混じった	23
ほんやりした	23
新しい・新しくなる	23
古い・古いできごと	23
明るい	23
暗い	23
生き生きとした	23
秘密の・未知の	23
兼ね備える	23
すべての・さまざまな	23

性格・能力・容姿

誠実な・信頼できる

一諾千金	いちだくせんぎん	33
温厚篤実	わんこうとくじつ	82
虚心坦懐	きょしんたんかい	133
虚心平気	きょしんへいき	134
謹厳実直	きんげんじつちよく	139
勤儉力行	きんけんりくこう	140
蹇々匪躬	けんけんひきん	156
拳々服膺	けんけんふくよう	157
言行一致	げんこういちじ	157
公明正大	こうめいせいだい	175
懇切丁寧	こんせつていねい	192
修身齐家	しゆしんけいしや	233
真実一路	しんじついちろ	262
誠心誠意	せいしんせいぎ	279
正々堂堂	ていせいどうどう	280
青天白日	せいてんぱくじつ	281
精励恪勤	せいれいきつきん	282
清廉潔白	せいれんけつぱく	283
品行方正	ひんこうほうせい	404

不誠実な・信頼できない

阿諛追従	あゆしゆじゆう	18
内股膏粱	うちまたかうりやう	67
輕佻浮薄	けいひょううはく	151
巧言令色	けうげんれいしよく	167
公私混同	こうしこんどう	169
舌先三寸	したさきさんすん	214
城狐社鼠	じやうこしゃそ	247
粗製濫造	そせいらんぞう	309
八方美人	はつぱうびじん	383
二股膏粱	にまたかうりやう	416

放蕩無頼 ほうとうむらい 434

流連荒亡 りゅうれんこうぼう 485

寛大な・思いやりがある

大盤振舞	おほばんびんまい	81
寛仁大度	かんじんたいど	104
鬼手仏心	きしゆぶつしん	115
鬼面仏心	きめんぶつしん	119
情状酌量	じやうじやうじやうりやう	250
大慈大悲	だいじだいひ	316

自信がある・自慢げな

驕奢淫逸	きやうしゃいんいつ	124
傲岸不遜	ごうがんぷそん	164
厚顔無恥	こうがんむち	165
傲慢不遜	ごうまんぷそん	174
傲慢無礼	ごうまんぶれい	175
自画自賛	じがじざん	204
自信满满	じしんまんまん	213
手前味噌	てまえみそ	344
得意满面	とくいまんめん	362
独立自尊	どくりつじゆん	364
唯我独尊	ぜいごどくそん	465

自分勝手な

得手勝手	えてかたて	75
我田引水	がでんしんずい	95
職権濫用	しやくけんらんよう	257
私利私欲	しりきしりよく	258
断章取義	だんじやくぎ	328
党利党略	とうりやうりやく	361
独断専行	どくだんせんこう	363
馬耳東風	ばじとうふう	380
傍若無人	ぼうじやくびじん	432
無理往生	むりおうじやう	449
無理難題	むりなんだい	450

無理無体 むりむたい 450

明哲保身 めいしやくほうしん 452

問答無用 もんどうむよう 462

無遠慮な

慫慂無礼	しゆんじゆんぶれい	63
横行闊歩	かうこうくわんぱう	80
傲慢無礼	ごうまんぶれい	175
自由奔放	じゆりゆうほうぱう	236
天下御免	てんかごめん	346
傍若無人	ぼうじやくびじん	432
迷惑千万	めいわくせんばん	456

知識や知恵がある

快刀乱麻	かいとうらんま	88
眼光炯々	げんこうけうけう	102
眼光紙背	げんこうしはい	102
才子佳人	さいしんさいじん	194
才色兼備	さいしきけんび	195
思慮分別	しりゆぶんべつ	259
全知全能	ぜんちぜんりやう	296
知勇兼備	ちゆうけんび	332
博引旁証	はくしんぱうしやう	376
博学多才	はくがくたさい	376
博学多識	はくがくたしき	377
博識多才	はくしきたさい	377
博聞強記	はくぶんきやうき	379
博覽強記	はくらんきやうき	379
飛耳長目	ひじやうちよく	394

知識や知恵がない

一知半解	いちちはんかい	55
眼高手低	がんこうてい	102
輕拳妄動	けいけんもうどう	149
浅学菲才	せんがくひさい	288
淺薄皮相	せんぱくひさう	299

皮相浅薄 ひそくせんぱく 396
 無知蒙昧 むちもうまい 446
 夜郎自大 やらうじだい 463

才能がある

一枚看板 いちまいかんぱん 37
 鶏鳴狗盗 けいめいこうとう 153
 才气焕发 さいきはつぱつ 193
 才子多病 さいしゅたひょう 195
 三面六臂 さんめんろくべい 202
 縦横無尽 じゅうおうむじん 228
 前途有為 ぜんてうゐい 297
 前途有望 ぜんてううぼう 298
 大器晩成 たいきばんせい 312
 泰山北斗 たいざんぼとう 315
 多士济々 たしせいせい 322
 博学多才 ぱくがくたさい 376
 博識多才 ぱくしきたさい 377
 八面六臂 はちめんろくべい 382
 百発百中 ひゃくぱつちゅう 402
 文質彬彬 ぶんしつびんびん 423
 明哲保身 めいてつほしん 452
 免許皆伝 めんぎょくぜん 457

才能を生かす

適材適所 てきざいてきじよ 342

才能が生かせない

轆轤不遇 ろくろふぐ 99
 器用貧乏 きうようひんぱう 127
 大器小用 たいきしょうよう 312

才能を隠す

和光同塵 わこうどうじん 493

経験が豊富な

一枚看板 いちまいかんぱん 37
 海千山千 うみせんせんやません 68
 千軍万馬 せんぐんばんば 289
 泰山北斗 たいざんぼくと 315
 多士济々 たしせいせい 322
 手練手管 てれんてくだ 344
 百戦錬磨 ひゃくせんれんま 399
 免許皆伝 めんぎょくぜん 457

意志が強い

隠忍自重 いんにんじちゆう 64
 外柔内剛 がいじゆう 86
 臥薪嘗胆 がいしんじやうたん 90
 確乎不拔 かくこふぱつ 92
 頑固一徹 がんこいつてつ 101
 狷介孤高 けんかいここう 155
 堅忍不拔 けんんにんふぱつ 160
 剛毅木訥 こうぎもくたく 166
 孤高狷介 ここうけんかい 181
 志操堅固 しそうけんこ 214
 七転八起 しちてんぱつき 215
 初志貫徹 しょしけんてつ 256
 鉄心石腸 てつしんせきちゆう 342
 鉄腸石心 てつちゆうせきしん 343
 内剛外柔 ないこうぐわいじゆう 367
 百折不撓 ひゃくせつぱつ 398
 不撓不屈 ふせうふく 417
 面壁九年 めんぺきくわねん 457

意志が弱い

唯々諾々 いいだくだく 21
 外剛内柔 がいこうないじゆう 85
 狐疑逡巡 こぎしゆんじゆん 178
 遲疑逡巡 ちぎしゆんじゆん 331

内柔外剛 ないじゆう 367

薄志弱行 はくしじやくこう 378

付和雷同 ふうどう 422

優柔不断 ゆうじゆうたふたん 468

決断力がある

一刀兩断 いっとうりゅうだん 58
 剛毅果断 こうぎかくだん 165
 熟慮断行 じゆくりょだん 238
 即断即決 じやくだんじやくけつ 308
 即決即断 じやくけつじやくだん 309
 大胆不敵 たいだんふてき 318
 知勇兼備 ちゆうぎんび 332
 勇往邁進 ゆうわうまいしん 465
 勇猛精進 ゆうめいしんじゆう 470

創造力がある

換骨奪胎 かんこつたつたい 103
 古今独歩 ここんどくほ 182
 斬新奇抜 ざんしんきへつ 198
 創意工夫 さいぎょう 302
 本家本元 ほんけほんもと 437

能力がない

行尸走肉 こうしにく 169
 人間失格 にんげんしつかく 372
 反面教師 はんめんきうし 392
 無芸大食 むげんたいじやく 443

魅力がある

英姿颯爽 えいしさつそう 72
 傾城傾国 けいせいけいこく 150
 輕妙洒脱 けいめいしゃたう 152
 才子佳人 さいしんかじん 194
 才色兼備 さいしきけんび 195
 羞花閉月 しゆうけふげつ 229